

# 発達障害相談事業・2007年の概況

電話による発達障害相談および大学外教育・医療機関等における発達障害相談

## 1. 実施回数（電話相談のみ）

電話受付： 145回

第1期 平成19年1月9日～3月23日 37回

第2期 平成19年4月9日～7月20日 55回

第3期 平成19年9月10日～12月21日 53回

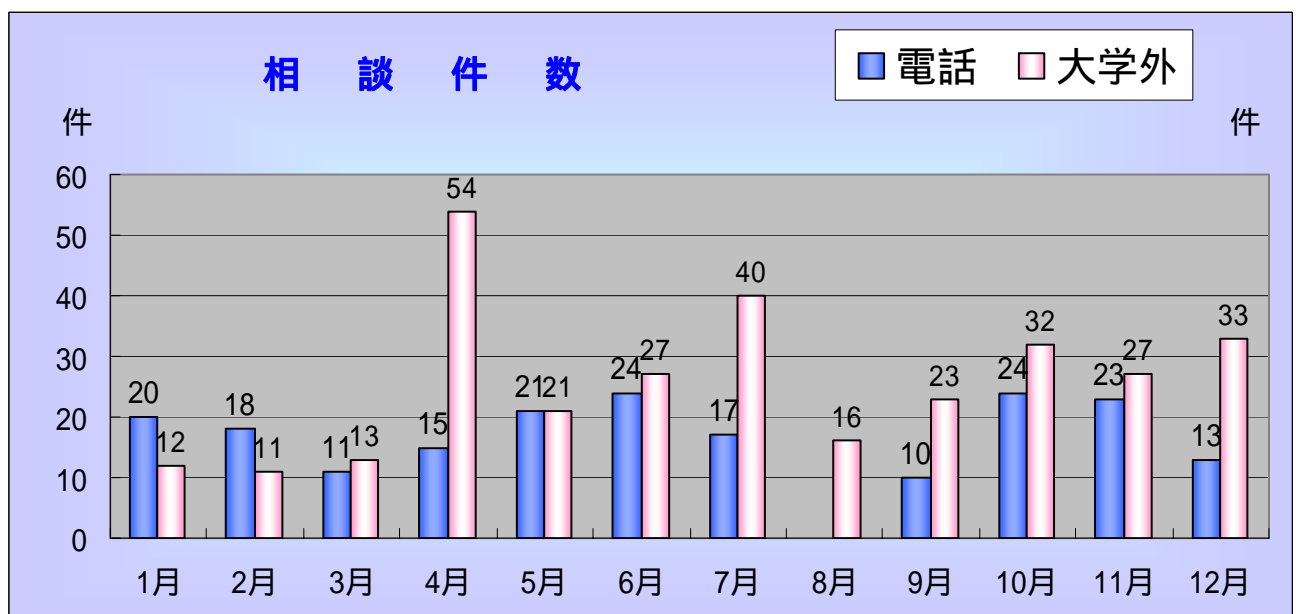
## 2. 相談件数（電話相談＋大学外）のべ505件（図1）

（相談者のべ件数）

（単位：件）

	電話	大学外	計
第1期 1月～3月	49	36	85
第2期 4月～8月	77	158	235
第3期 9月～12月	70	115	185
計	196	309	505

《電話・大学外別月別相談件数》



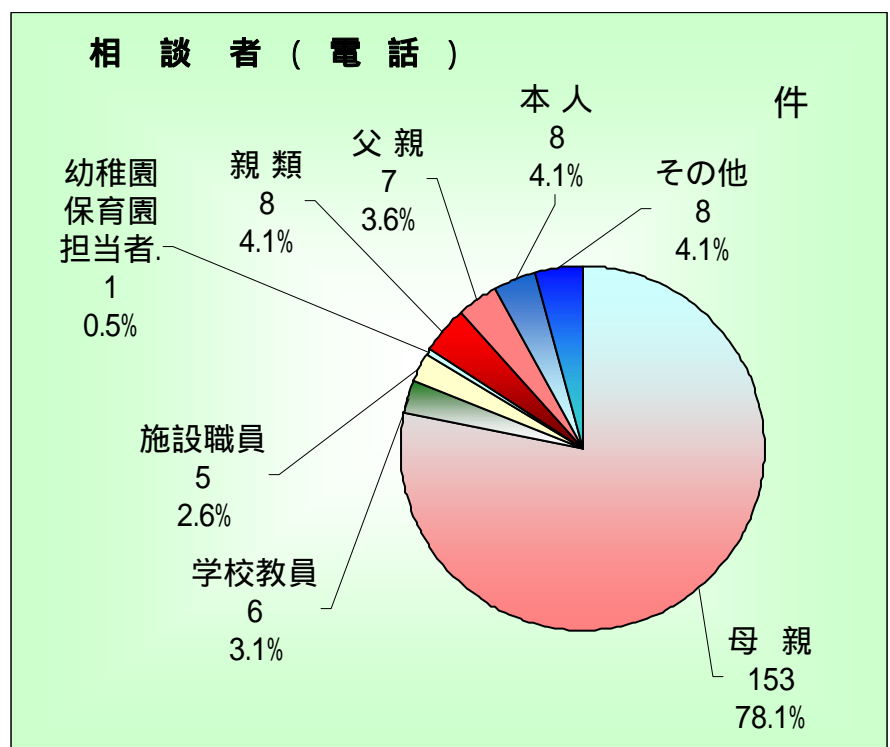
（ 図 1 ）

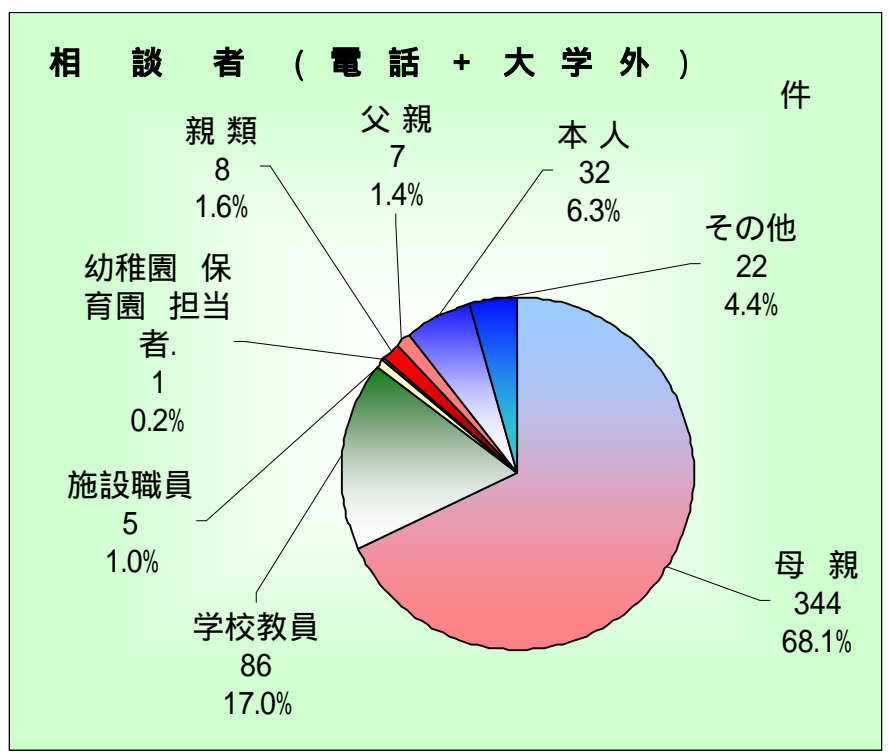
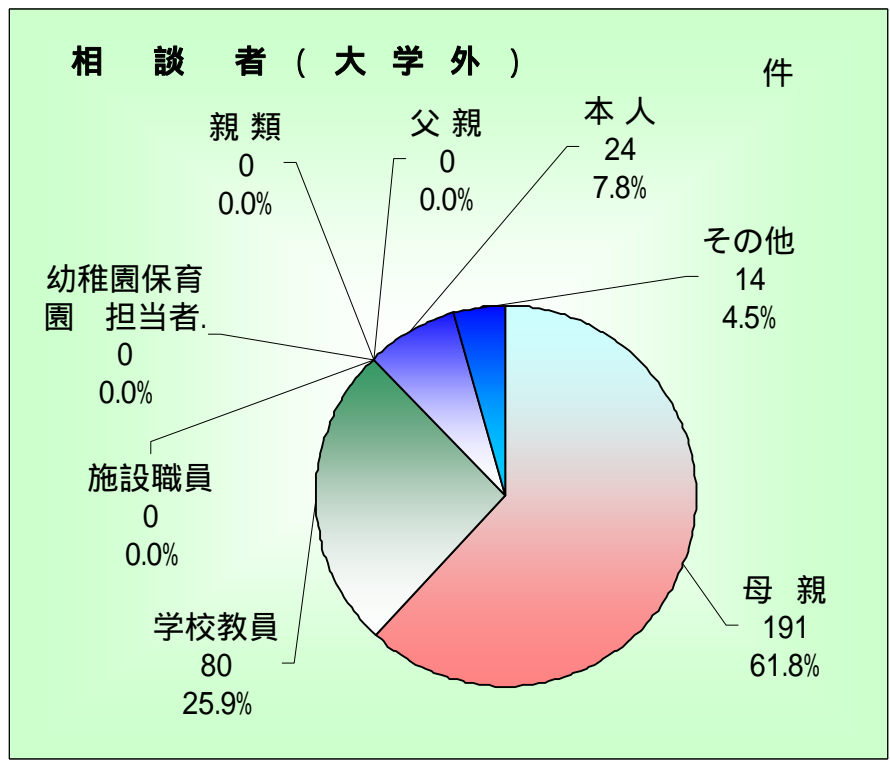
### 3. 相談者及び相談の主訴分類

#### 1) 相談者の分類 (図2)

(単位：件)

相談者の分類	電話	大学外	計
母親	153	191	344
学校教員	6	80	86
施設職員	5	0	5
幼稚園保育園担当者	1	0	1
親類	8	0	8
父親	7	0	7
本人	8	24	32
その他	8	14	22
計	196	309	505





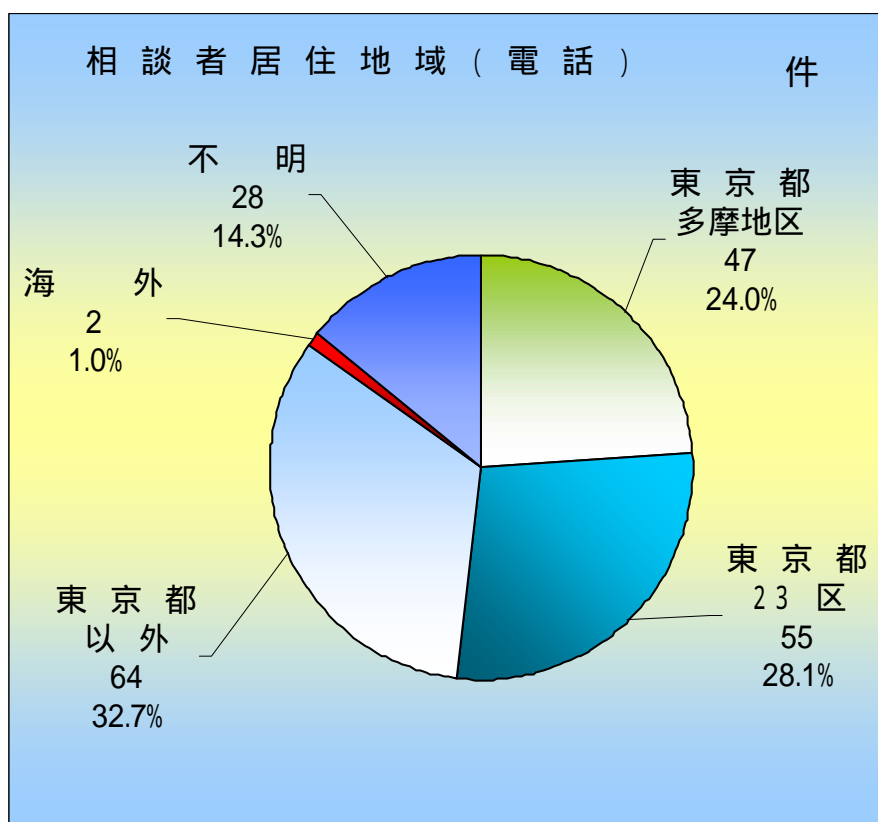
相 談 者 の 分 類 ( 図 2 )

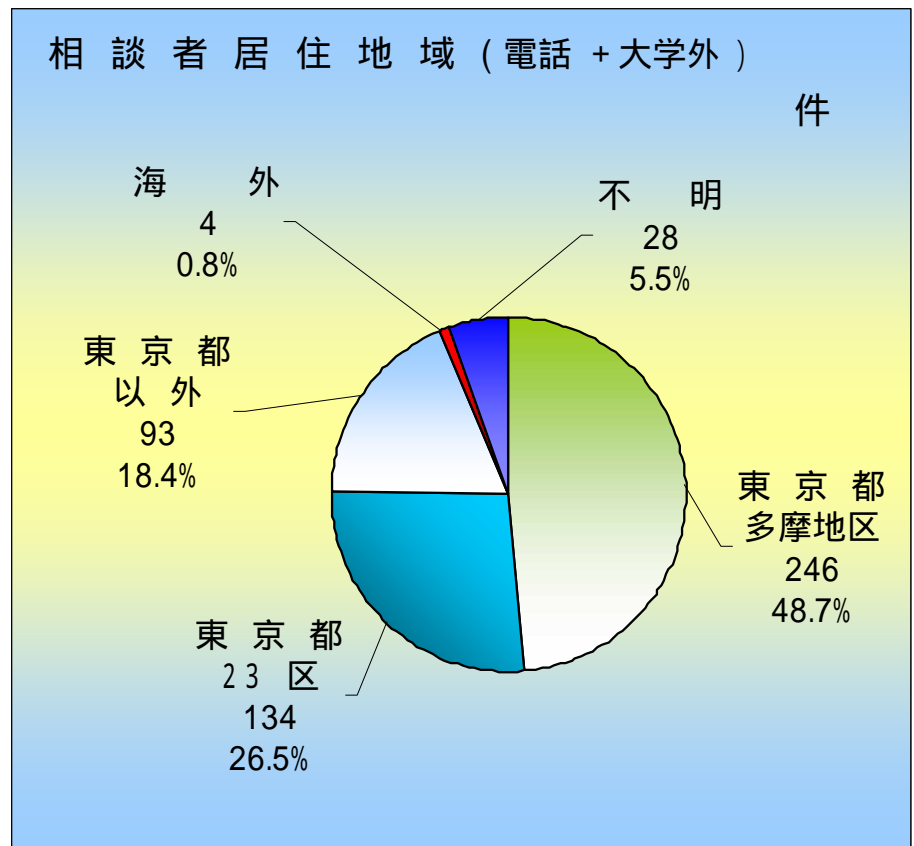
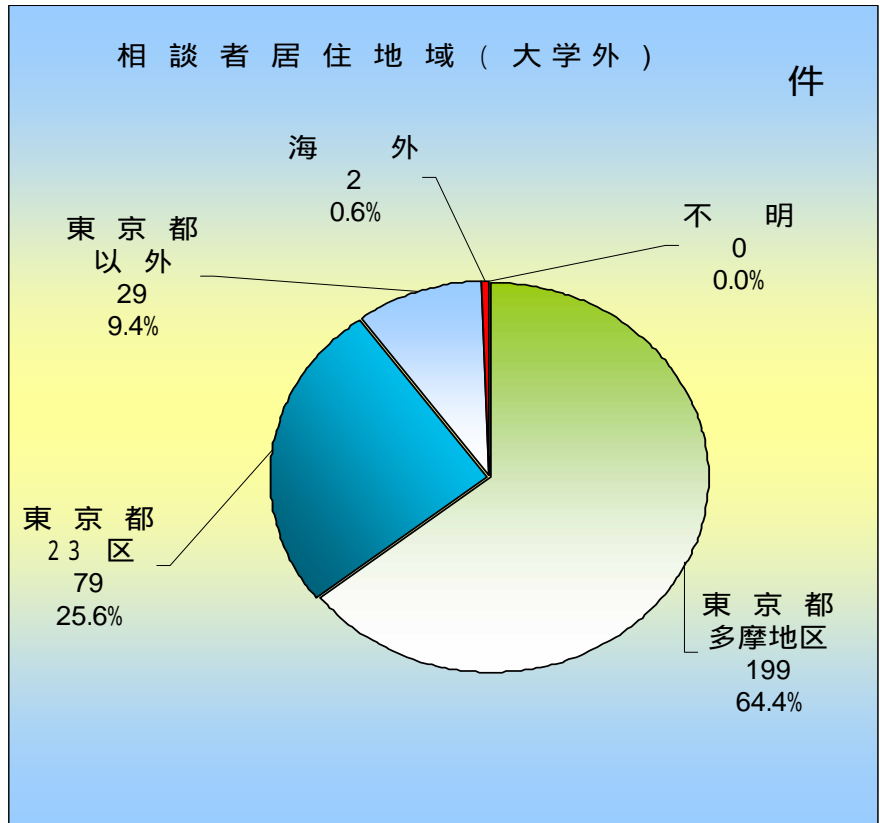
2) 相談者の居住地域

( 図 3 )

( 単位 : 件 )

居住地域	電話	大学外	計
東京都多摩地区	47	199	246
東京都特別区(23区)	55	79	134
東京都以外の道府県	64	29	93
海外	2	2	4
不明	28	0	28
計	196	309	505



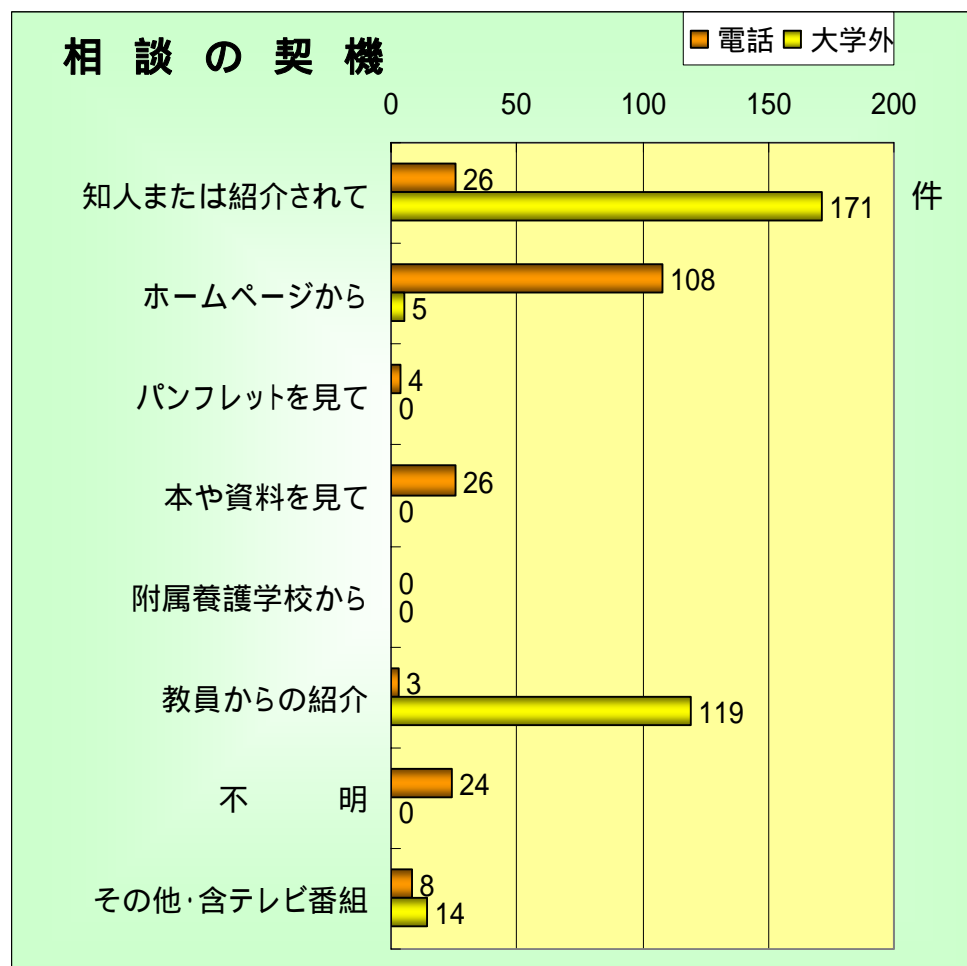


相談者の居住地域（図3）

### 3) 相談の契機

( 図 4 重複あり 508 件 )

契 機	電 話		大 学 外		計	
	件	%	件	%	件	%
知人または紹介されて	26	13.3	171	55.3	197	39.0
ホームページから	108	55.1	5	1.6	113	22.4
パンフレットを見て	4	2.0	0	0	4	0.8
本や資料を見て	26	13.3	0	0	26	5.1
附属養護学校から	0	0	0	0	0	0
教員からの紹介	3	1.5	119	38.5	122	24.2
不 明	24	12.2	0	0	24	4.8
その他・含テレビ番組	8	4.1	14	4.5	22	4.4
計	199		309		508	



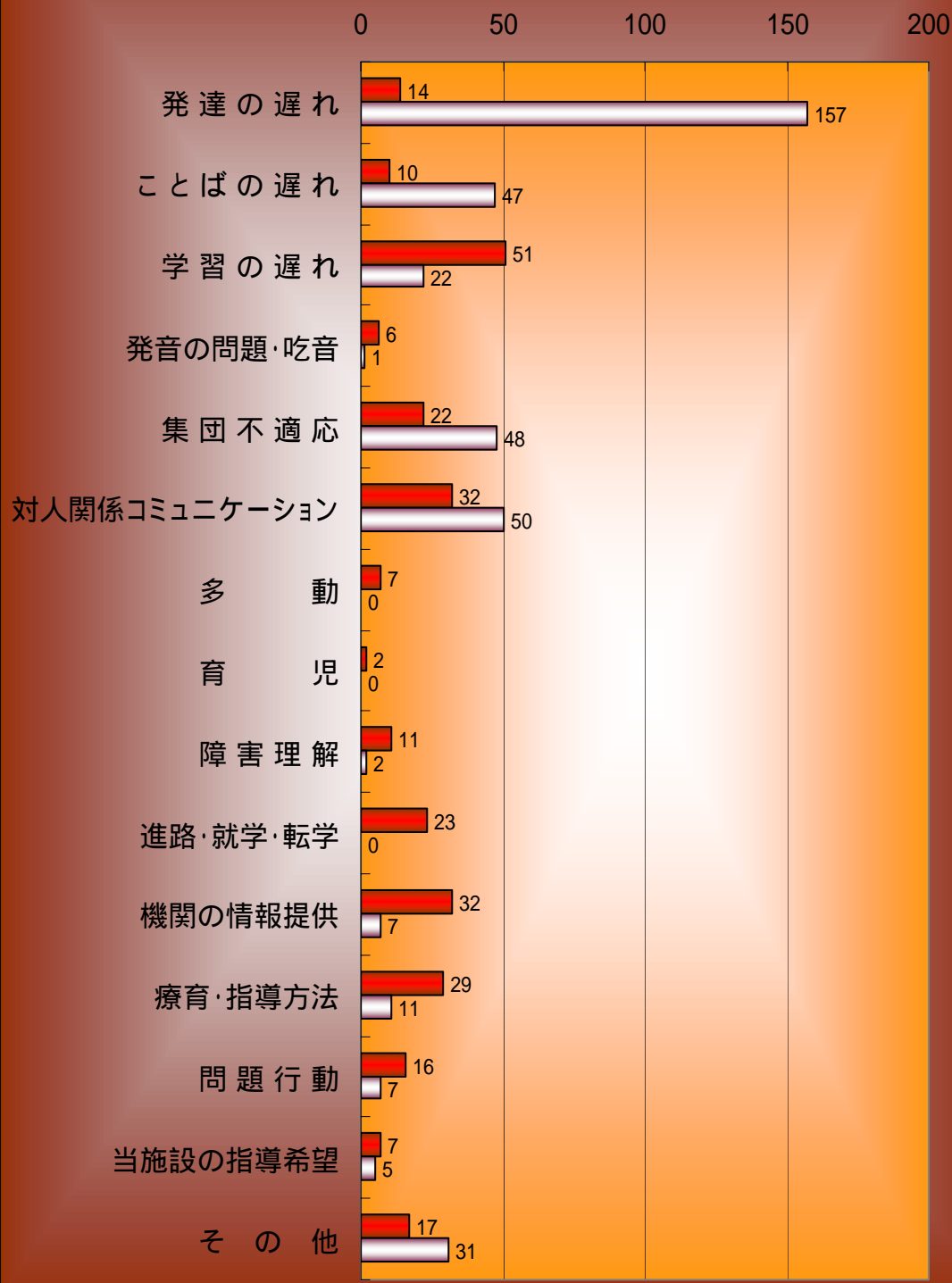
4) 主訴分類 ( 図 5 相談者からの重複相談件数 667件)

主訴分類	電話		大学外		計	
	件	%	件	%	件	%
発達の遅れ	14	7.1	157	50.8	171	33.9
ことばの遅れ	10	5.1	47	15.2	57	11.3
学習の遅れ	51	26.0	22	7.1	73	14.5
発音の問題・吃音	6	3.1	1	0.3	7	1.4
集団不適應	22	11.2	48	15.5	70	13.9
対人関係コミュニケーション	32	16.3	50	16.2	82	16.2
多動	7	3.6	0	0.0	7	1.4
育児	2	1.0	0	0.0	2	0.4
障害理解	11	5.6	2	0.6	13	2.6
進路就学転学	23	11.7	0	0.0	23	4.6
機関の情報提供	32	16.3	7	2.3	39	7.7
療育・指導方法	29	14.8	11	3.6	40	7.9
問題行動	16	8.2	7	2.3	23	4.6
当施設の指導希望	7	3.6	5	1.6	12	2.4
その他	17	8.7	31	10.0	48	9.5
計	279		388		667	

# 相談の主訴

件

■電話 □大学外

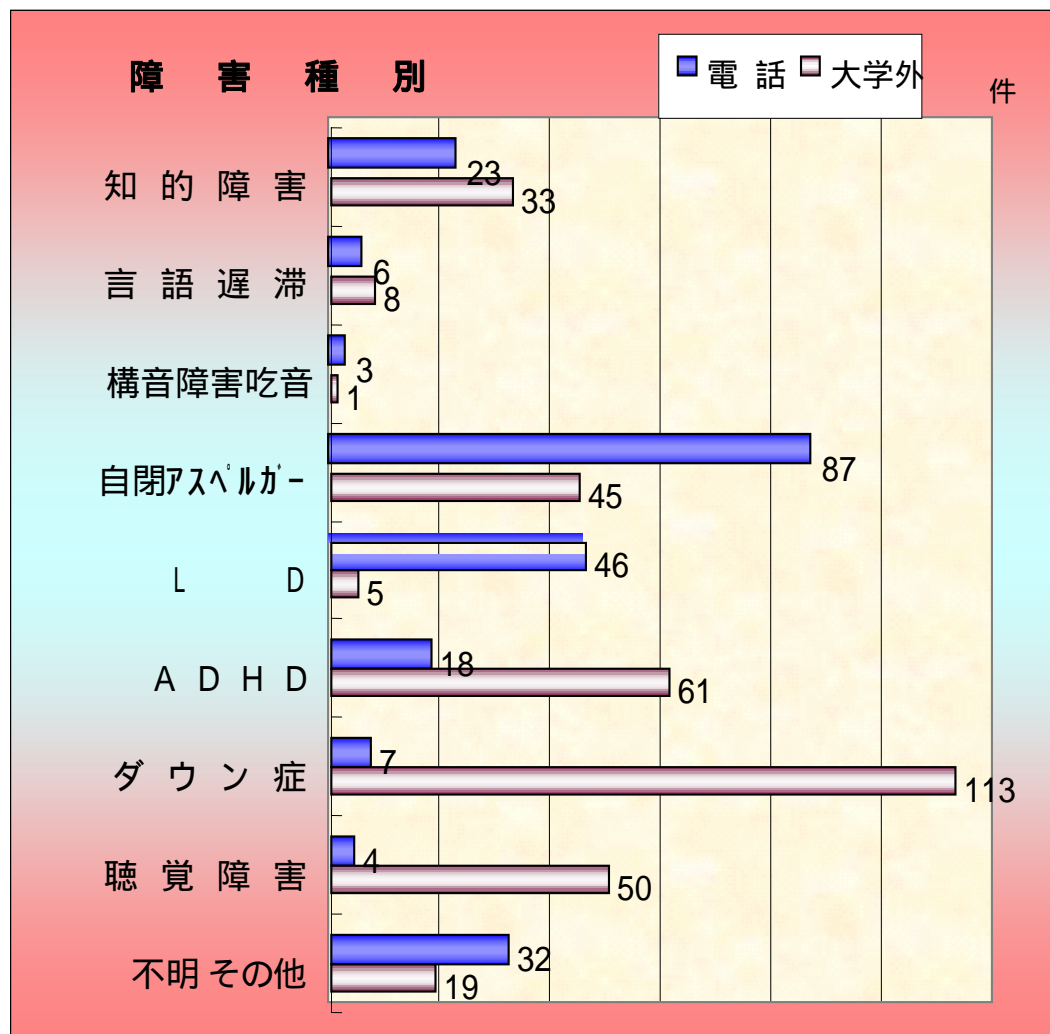


相談の主訴 ( 図 5 )



5) 相談主訴の対象や内容の障害種別 ( 図6 重複あり 障害児・者561件 )

対象や種別	電話		大学外		計	
	件	%	件	%	件	%
知的障害	23	11.7	33	10.7	56	11.1
言語遅滞	6	3.1	8	2.6	14	2.8
構音障害・吃音	3	1.5	1	0.3	4	0.8
自閉アスペルガー	87	44.4	45	14.6	132	26.1
L D	46	23.5	5	1.6	51	10.1
A D H D	18	9.2	61	19.7	79	15.6
ダウン症	7	3.6	113	36.6	120	23.8
聴覚障害	4	2.0	50	16.2	54	10.7
不明 その他	32	16.3	19	6.1	51	10.1
計	226		335		561	

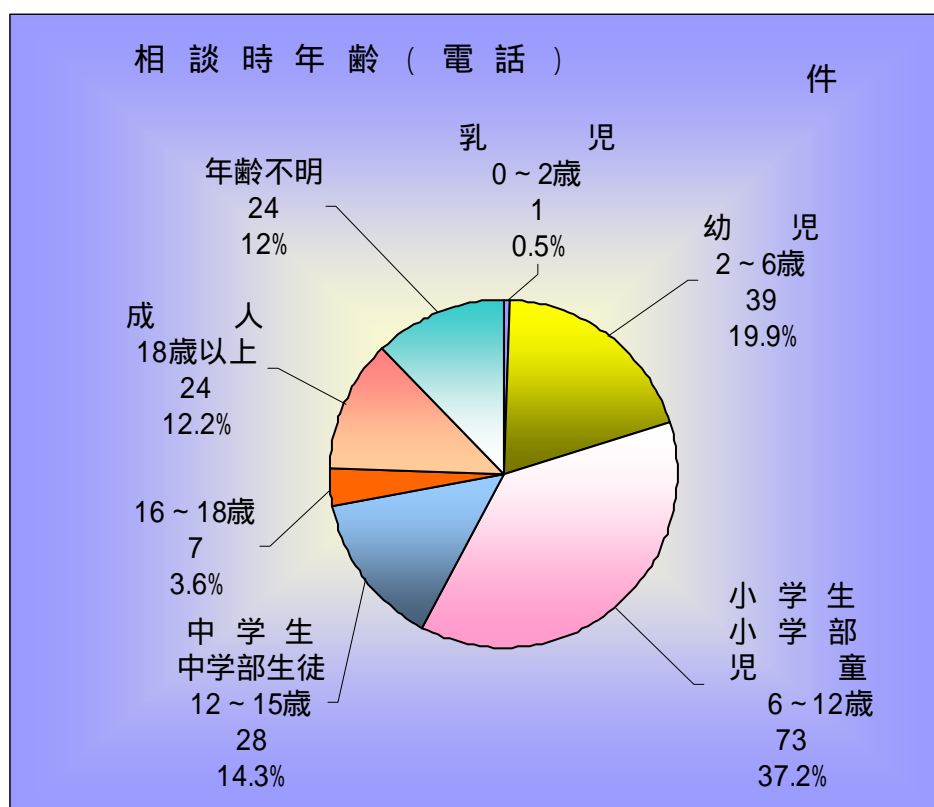


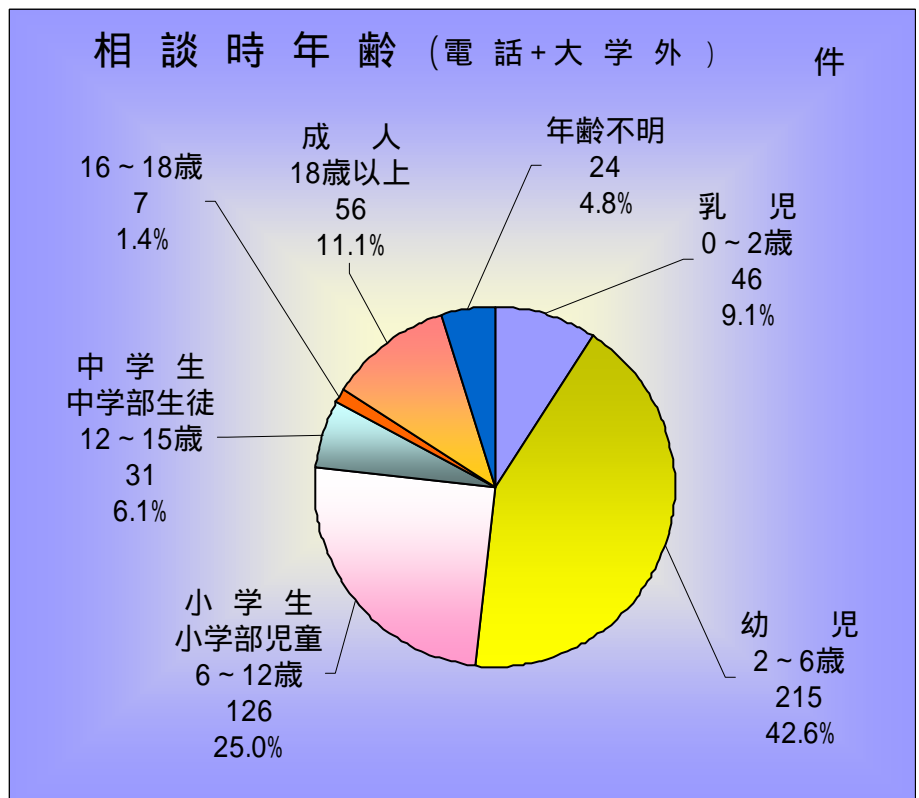
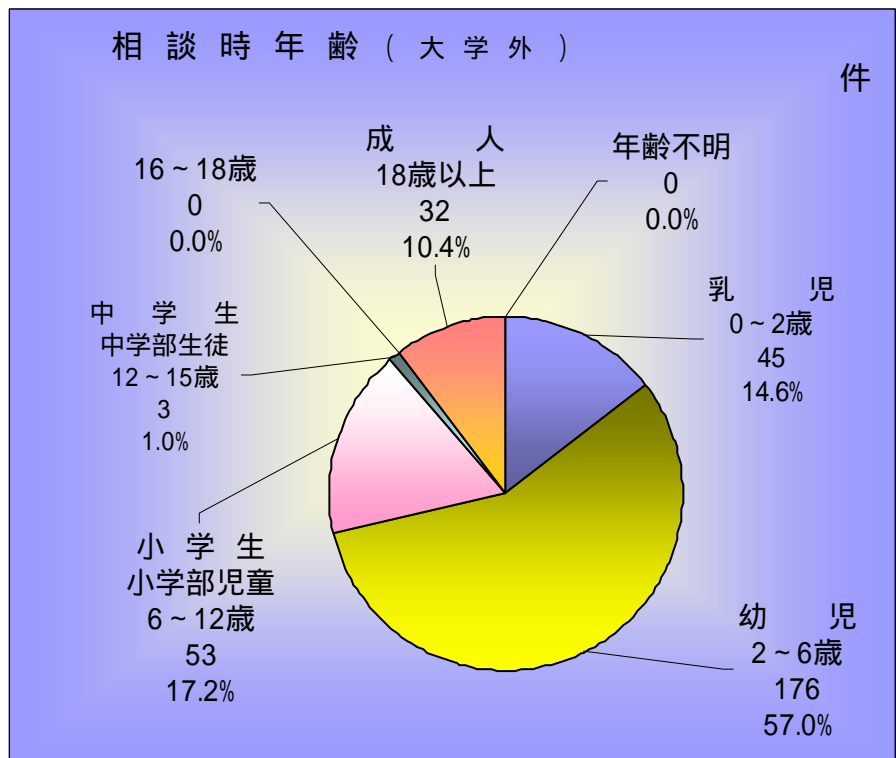
相談主訴の対象や内容の障害種別 ( 図 6 )

6) 相談主訴の対象である障害児・者の年齢構成 ( 図7 障害児・者のべ 505件 )

(単位 :件)

相談時年齢	電話	大学外	計
乳 児 0~2歳	1	45	46
幼 児 2~6歳	39	176	215
小学生小学部児童 6~12歳	73	53	126
中学生中学部生徒 12~15歳	28	3	31
16歳以上 16~18歳	7	0	7
成 人 18歳以上	24	32	56
年 齢 不 明	24	0	24
計	196	309	505





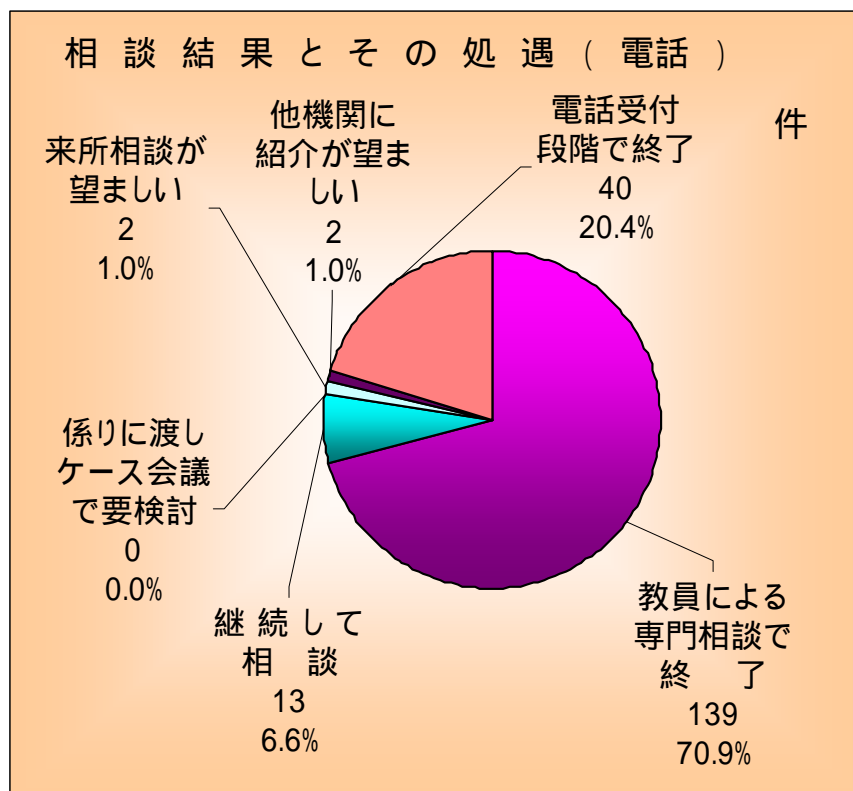
相談主訴の対象児・者の年齢構成（図 7）

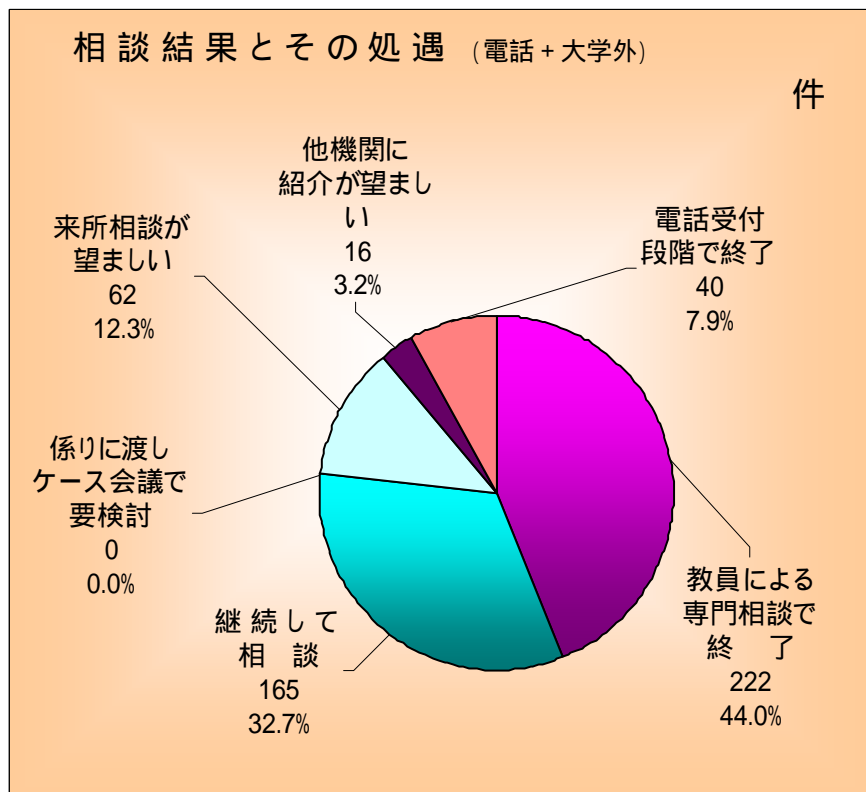
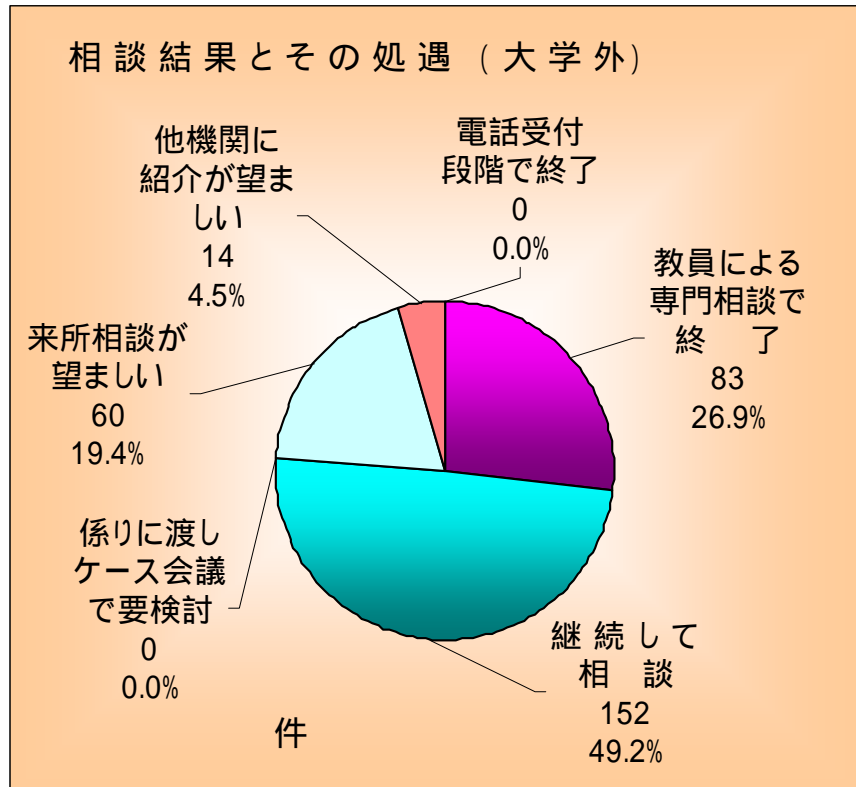
7) 相談結果とその処遇

( 図 8 505件 )

(単位 : 件)

結果と処遇	電話	大学外	計
教員による専門相談で終了	139	83	222
継続して相談	13	152	165
係りに渡しケース会議で要検討	0	0	0
来所相談が望ましい	2	60	62
他機関に紹介が望ましい	2	14	16
電話受付段階で終了	40	0	40
計	196	309	505





相談結果とその処遇（図 8）